



# 謹賀新年



こんにちは！勤務医の中山です。  
 こうしてあかりレターを手にとって頂き  
 本当にありがとうございます。  
 皆様にあかりレターを読んでいただく事で  
 ほんの少しでもクスッと笑えたり、  
 へ～と思って頂けたら私共は  
 本当に嬉しいです！  
 2022年もコロナや風邪に負けずに  
 元気に頑張っていきましょう！

令和4年10月発行  
 担当 中山 雅雄先生

## 感染の窓

私事で大変恐縮なのですが、我が家に第一子が誕生いたしました！  
 もうすぐ一歳になるところで、色々な人たちに協力してもらいながらなんとか子育て奮闘しているところです！  
 そんな中、近所のおばちゃんにこんな事を言われたのです。

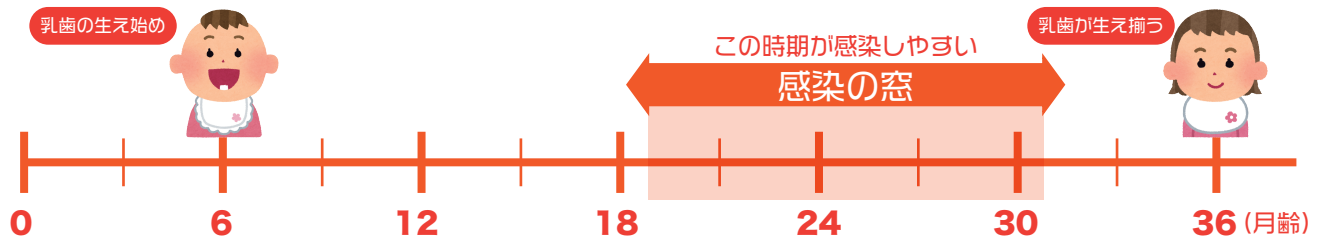
中山さん家のお子さんはいいわねえ。  
 お父さん歯医者さんだから虫歯にならずに済むわね～。おほほ～。



…。  
 いやいやちょっと待ってください。普通にプレッシャーです。  
 もしも虫歯ができてしまったら………周りの方々の冷やかな目を想像するだけで背筋が凍りつきますよね。

というわけで！今回は「感染の窓の一年間」というお話を  
 していきます。産まれたばかりの赤ちゃんには虫歯菌がゼロ  
 で、そこから少しずつ増えてきます。  
 その時最も危険なのがお母さんの口からの母子感染です。  
 そして虫歯菌の母子感染の起こりやすい時期というものが  
 あります。  
 それが**感染の窓**といわれる一歳半から二歳半までで、  
 乳歯が次々と生えてくる一年間なのです。

- この時期は複雑な形の乳臼歯が増えてくるため、虫歯菌の棲み処も増えてきます。
- そのため虫歯菌がしやすい最初の時期でもあるわけです。
- ただ、それを知っていても虫歯菌をゼロにすることはできません。
- お母さんお父さん、子どもに関わる皆で、楽しく子どもと関わりながら「感染の窓」の時期を乗り越えていきましょう！



## デグーの生態

Part③

皆さん、デグーという生き物を知っていますか？そうです。私のペットです。  
 今回は、デグーの鳴き声についてお話ししたいと思います。

デグーは「アンデスの歌うネズミ」と呼ばれており嬉しい時や悲しい時に鳴き声を使い分ける事が出来る感情表現豊かな動物です。

嬉しい時にはピピ！ピピ！と鳴きますし、怒っている時はブギー！と鳴いたりします。  
 かまってほしいときはキュルキュルとかわいい声で鳴きます。

我が家のデグーは、ご飯を食べている時にちょっかいをだすとブギョー！と、激怒したりします。  
 このようにデグー社会では、鳴き声を通じて自分の意志をしっかりと伝えているのです。

われわれ人間は、考えすぎるあまり自分の意見を主張出来ないことがしばしばありますが、デグーをみていると  
 意思表示の大事さを改めて痛感するのであります。

